

2025~2026年度 国際ロータリー会長メッセージ



国際ロータリー会長 フランチェスコ・アレツツォ

2025~2026年度 地区基本方針

「未来へつなぐ」

RI第2650地区ガバナー 小崎 学

「ともだち」 石種:ロイヤルマホガニー



作: 杉村 仁 会長

- 会長 杉村 仁 副会長 佃 尚彦 副会長 安井 清悟 会長エレクト 井上 直治 直前会長 佐川 寛一
幹事 加藤 又弘 会計 木村 和弘 会場監督 丸山 佳映 理事 井上 直治 理事 岡崎 義幸
理事 東山 光秀 理事 安井 清悟 理事 松中 隆 会報委員長 岡崎 義幸

今月は 母子の健康 月間です

第1回(2548回)例会プログラム令和7年7月3日(木)

- 1. 開会宣言 点鐘
2. ソング 「君が代」「奉仕の理想」
3. 来訪者紹介
4. 出席報告
5. 会長の時間・理事会報告
6. ニコニコ報告
7. 委員会報告・幹事報告
8. 「会長・副会長・幹事・SAA・会計 今年度運営方針発表」
9. 閉会宣言 点鐘

第35回(2547回) 例会報告 2025. 6. 26 ソング

「ロータリーって何だろう」

出席報告

Table with 6 columns: 会員数, 出席計算免除会員数, 出席会員数, 欠席者数, 出席率. Rows: 通算 2547 回, 通算2545回修正.

ニコニコ報告

佐川寛一会長

奈良西ロータリークラブの皆様、佐川年度、1年間お世話になりました。次年度は直前会長として頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。

植野洋志P会長、東山光秀会員、小松玲子会員、加藤又弘会員

佐川会長、安井副会長、木村幹事、岡崎SAA、1年間お疲れ様、そしてありがとうございました。

木村和弘会員

奈良西ロータリークラブの皆様 1年間大変お世話になりました。ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

田中耕造会員

佐川会長、会員の皆様いつもありがとうございます。本日もよろしくお願いいたします。

出席表彰



6月出席表彰

- 川崎 祥記P会長 皆出席1年 (在会23年)
安井 清悟P会長 皆出席1年 (在会20年)
井上 直治会員 皆出席1年 (在会11年)
川上 顕慶会員 皆出席1年 (在会3年)

皆様 おめでとうございます

バッジの交換



会長退任挨拶(会長の時間)

<2024~2025年度会長退任挨拶>

佐川 寛一 会長

皆さま、今晚は。

2024年の7月から佐川年度、『和を以て、輪と成す』をテーマに船出致しました。時間に限りも御座いますので、ざっと、1年間を大急ぎで振り返ってみたいと思います。

令和6年8月8日に中本勝ガバナーのガバナー訪問がございました。ガバナー訪問では、今季の佐川年度の事業計画を報告致しました。ガバナー訪問で中本勝ガバナーよりコメントを頂きました。「昨年度に多くの退会者が出たようですが、そんな事は気にせず少数精鋭で頑張っていて下さい」と励ましのお言葉を頂きました。

出ていった方の未練を断ち切り、このクラブに居てくれたロータリアンに感謝と共に、会長として全身全霊で、頑張っていく、大丈夫だ。きっとやれる。自分を信じて、残ってくれたメンバーは最高じゃないか。

価値のある佐川年度にしようと心の中で誓い続けた1年間でした。では、1年間の奈良西ロータリークラブの活動を振り返りましょう。

○ 令和6年7月20日、社会福祉法人中川会の夏祭りに協賛致しました。

地域と密着した中川会、歌や盆踊りや屋台など、地域住民の方、ほぼ2千人の来場者で賑わいました。

○ 令和6年10月11日から13日まで、台湾の友好クラブ、台中中区ロータリークラブの45周年の記念式典にクラブを代表して安井副会長、杉村パースト会長、木村幹事、川上親睦委員長と会長佐川寛一の5名で台湾まで行って参りました。その当時、中国が軍事演習と言う名目で、軍艦が台湾を取り囲むと言う緊張感のある社会情勢でしたが、実際は、報道ばかりが大きくて台湾の内地は、ごくごく冷静なものでした。中国の挑発的態度に台湾がまともに相手をすれば、一発即発で戦争に成りかねない状況ではあったかと思いました。

10月11日は、台中中区ロータリークラブの創立45周年記念式典の前夜祭がありました。正に、台湾の方は、派手派手なお祭り好き民族で、親日派でしょうか。前夜祭の二次会は、国際日台親善カラオケ大会でした。

○ 次の日の10月12日は、午前中は、台湾観光に連れて行って下さり、お昼はロータリアンとその家族がランチとビール、テーブルの上は、紹興酒とビールが並び、乾杯の言葉で賑わい、アルコールがカラダ中を縦横無尽に駆け巡る感覚でありました。もうお酒ギブアップと言う感じでしたが、周年祝いの楽しいお酒でした。

○ 観光のその夜は、創立45周年の記念例会と祝賀会でした。会場はとてつもなく広く、来賓の席は14人が余裕で座れる大きく丸いテーブル。テーブルの上は、お花とお料理と祝い酒で埋め尽くされました。声楽家の歌の披露やロータリアンのサクソ演奏、ロータリアンの奥方様の民族舞踊やカラオケなど、盛況な祝賀会となりました。帰国の朝は、フランク会長御夫妻と台中中区のメンバーがホテルまで来て下さり、飛行場まで送って下さいました。台湾での良い思い出が出来ました

○ 令和6年11月10日、奈良市総合福祉センターで開かれた「オータム・アミーゴ・フィエスタ」に参加致しました。このイベントの目的は、障害のある人への理解を深め、共感の輪を広げることです。備え



あれば憂いなしと言う格言があるように、災害時に備え、人々の命を守る為に福祉協議会へ、簡易テントや簡易ベッド、簡易トイレなどの防災用品を寄贈させて頂きました。

○同年11月26日、奈良市の近鉄学研奈良登美ヶ丘駅南側に、電波式ソーラーパネル付きの時計塔を設置致しました。太陽と共に時を刻み、お地蔵さまの様に、行き交う人々の安全を見守ってほしいと言う気持ちも込めて寄贈させて頂きました。

○同年12月15日は、奈良西ロータリークラブは、55歳のお誕生日を迎える事になります。

この創立55周年の記念式典には、2650地区のガバナー、パーストガバナー、奈良県知事様、奈良市長様、奈良新聞社の田中社長様を来賓としてお招きし、ガバナー補佐様、奈良県下のロータリークラブの会長、幹事様、友好クラブの若狭ロータリークラブ、台湾からは、友好クラブの台中中区ロータリークラブも駆けつけて下さいました。

第1部の記念例会は今年度17回、通算2529回でした。プロ野球の連続ヒットよりもすごい記録が、例会のたびに更新されるわけですね。

第2部は、プロ野球解説者の梨田昌孝様の記念講演。

第3部は、記念祝賀会となり、滞りなく終えることができました。

記念撮影の前に、仲村忠雄名誉会員から奈良西ロータリークラブのロータリーアンとご家族に、祝辞と激励のお言葉を頂戴致しました。

式典の後は、台中中区のロータリークラブの会員様とご家族様と二次会、三次会と盛り上がり、奈良西の有志達と台中のメンバーは交流を深める事が出来ました。

○また、良い事ばかりではありませんでした。会員の減少で1000万近くの会費が減り、クラブも経費節減を余儀無くされ、節約を徹底しないとクラブの存続に関わってくると松中会計が会計の危機感を訴え、理事会の決定事項で、7年に渡りクラブソングのピアノ演奏に携わった先生を12月末をもって、断腸の思いで退職して頂く様にお願いしなければならなくなりました。会長として、言葉を発するのも勇気が入り、辛く厳しい試練でした。「会員様が増えて、演奏をする機会がありましたら、お声をかけて頂けたら有り難いです」と「クラブの御繁栄をお祈り致します」と申されてクラブを去って行かれる事になりました。

○令和6年12月21日は、毎年恒例に協賛している中川会のクリスマス会です。

屋台村の様に、多種多様の食べ物とドリンクが各屋台に沢山並び用意されて、クリスマスにちなんだ歌や踊りなど、会場は熱気に包まれ、福祉施設の方々が楽しめるイベントとなりました。

○令和7年の4月5日、4月6日の両日で、2650地区の地区大会が、ガバナー輩出の奈良クラブがホストクラブとなり、奈良、京都、福井、滋賀のロータリークラブから約2600名のロータリーアン達が奈良に集結致しました。地区大会では、北林パースト会長が、ロータリークラブ在会50年で表彰され、88歳の米寿を迎えられ、目出度い尽くして、奈良西ロータリークラブにとって名誉ある事で御座いました。私達ロータリーアンの誇りとも言えます。

しかし、昨日、6月25日に、わざわざ暑い中を奥様とご一緒に、私の診療所に退会届を持参されました。「体調が思わしくないの、明日の最終例会も行きたいのですがお休みさせて下さい」と言われて、退会届けを頂きました。療養されてお元気になられる事をお祈りしたいと思います。会員の皆様には、北林パースト会長に成り代わりまして、退会の御報告をお伝え致します。

○また、年に2回の家族親睦旅行も計画はしておりましたが、かくかくしかじかの諸事情で開催出来なかったことをこの場をお借りして、会員の皆さまにお詫び申し上げます。

至らぬ点、ロータリーの友情にてお許してください。

○1年間を振り返ると、何事にも、達成までの道のりは大変なものです。

プランを立てて、交渉や相談をし、許可を受けて施行、完成に至るまで、どれだけの時間と日数と打合せをし、関わった方々は、数え切れない位です。

会長に就任してロータリーアン同士が協力し合い、目標に向かって成し遂げていく大事さを身をもって体験する事が出来ました。ロータリーってなんだろう。。。?とソングの歌詞にもありますが、ロータリーとは、「嘘」「偽り」の無い仲間がロータリーアンであり、ロータリーの活動の中で、信用と信頼を少しずつ構築し合い、自分の成長の物語を、ロータリーライフの中で楽しく創り上げていく場所ではないかなと考えます。

○「今だけ」「自分だけ」「金だけ」と言われる社会を少しでも無くし、希望のある豊かな未来を創り、自分の生業に天命を感じながら、ロータリーの奉仕の理念を心に持ち続け、奈良西ロータリークラブを存続、繁栄させていく事が、もうすでに社会に貢献していると考えます。「できる時に」、「できる事を」、「できる範囲で」一生懸命に活動をして、自分が喜び笑顔になれるのか、相手も喜び笑顔になるのか、皆も喜び笑顔になるかを常に念頭において物事を進めていく事が、『和を以って、輪と成す』のテーマを実行する事になるのだと思います。

○最後になりましたが、奈良西ロータリークラブの会員の皆様のお一人おひとりに、高い所からではごさい

会長退任挨拶(続き)

ますが、心から感謝の意を申し上げますと共に、会長と言う貴重な体験で、数え切れないくらいの御縁と数え切れないくらいの助けを頂きました。

奈良西ロータリークラブとロータリーアンに弥栄(いやさか)を贈ると共に、ロータリーの事業と活動に関わって頂いた全ての方々に感謝の意を申し上げます。これで佐川年度の最終の挨拶とさせていただきます。奈良西ロータリークラブの会員の皆様、1年間、本当にありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。

令和7年6月26日、奈良西ロータリークラブ会長 佐川寛一

副会長退任挨拶

<2024~2025年度副会長退任挨拶>

安井 清悟 副会長

佐川年度の最終例会。副会長を退任するにあたり1年かを振り返りながら、皆様へ感謝の言葉を述べさせていただきます。

御承知の通り、佐川年度の船出は決して穏やかなものではございませんでした。

前年度で19名もの退会者が出てしまい、何と申しますか、第1例会に来ました時には会場が半分になり随分とこじんまりとしたもんだと。嘆いていいのやら悲しんでいいのやらの始まりでした。それでも会長の陣頭指揮の下、佐川年度は走り出したわけですが、いざ始まってみると随分と和やかになったかなと思えました。ロータリーはまずは人間関係です。人の心の探り合いなどはもつての外。ロータリアン皆様がお互いを尊敬して盛り立てていくもの。それが実戦出来た1年であったかと。その点において奈良西は本当の意味で曇りのないクラブに成って来たと思えました。これも佐川会長、木村幹事の人徳であり、会員皆様が本当の意味で仲良くして頂いた結果と存じます。

お互いが気遣い合うのは大変ですが、それが出来ているからこそ、その良き関係性で、人は減りましたが佐川会長のリーダーシップも発揮され55周年事業が成功裏に終われたと確信をしております。本当に奈良西ロータリアンここにありを示せたのが今回の55周年事業でした。

奈良県知事にも奈良市長にも来ていただき花を添えてもらえました。実行委員会で何回もお願いに上がればOKが取れました。やっぱり誠実に「来てほしい」って気持ちを表さないと成就しないものです。

ゲストに梨田監督をお迎えして大成功でした。植田実行委員長のおかげです。聞けば梨田さんが近鉄の監督をしていた時の球団オーナーが植田委員長でした。やはり人間関係です。オーナーの時代に上手く監督との関係を築いておられたからこそ来ていただけたと感謝です。

また会員数の減少でクラブに入ってくる会費が大激減しましたので、まともな家族親睦会が開けないままに年度を終えてしまうことに成りました。これについては本当に申し訳なくお詫びするしかないと思っております。ロータリーらしく魅力があり御令室、ご家族の皆様が参加したいと思って頂ける家族親睦会を深く考えて企画するべきでした。今まで奈良西の親睦はとにかく豪華一点張りで行っていました。今回の最終親睦会は若狭クラブとの友好を深めようと合同の親睦会を考えたのですが、奈良西も8名の参加で少なかったです。若狭クラブも急なお願いだったので会長幹事とエレクトの3名の参加で、例会の形を整えることが出来ませんでした。友好クラブとどの様に交流を深めるかが課題と成りました。家族親睦も奉仕事業も含まれた家族親睦例会に変えていくとか考えていく時期に成って来たのかもしれませんが。変化をさせた後、直ぐには上手くいきません。時間をかけて会員の皆様が望まれることを模索していきながら、変わっていく事も大事な事だとつくづく実感したものでした。

次年度で喫緊の課題は、会員増強で御座います。ロータリークラブの魅力が変わったのは確かかも知れませんが。私の親の時代は「ロータリーに入れてもらうだけでステータス」って時代でした。今はその魅力が薄れてきているのかも知れません。そもそもの人口が減っているのです。どのクラブでも同じ悩みを抱えています。今年度で何名かの方に入会のお声かけをしました。その時に話されるのは「ロータリーには魅力を感じている。奉仕事業も大事な事とわかっている。お金もそれなりに持ってます。だけど年間40万を超える会費は高すぎる」という返事がきました。余力のあるお金の使い道としてロータリー会費はそれに当たらないのかも知れません。もっとロータリーの魅力を話していれば会員増強の道は開けてくるのかと思います。

なにわともあれ、1年間お世話に成りました。ひとえに会員皆様のおかげで1年間の副会長の任期を終えることが出来ました。次年度は佃P会長に副会長を委ねて、少しだけゆっくりと出来るかと。佃P会長がお休みの時は出て参ります。その時はどうか今年度同様お手柔らかに扱ってくださいませ。

これを持ちまして副会長退任の挨拶と致します。1年間ありがとうございました。



幹事退任挨拶

<2024～2025年度幹事退任挨拶>

木村 和弘 幹事

皆様こんばんは、今年度幹事として一年間努めさせていただきました、木村でございます。

この1年間バタバタとしてしまい、佐川会長、安井副会長のご教授のもと、皆さんに多くのご協力をいただきました。本当にお世話になり、ありがとうございました。

今年度は55周年とのことで記念事業を行いました。悪戦苦闘の連続でした。学研登美ヶ丘駅南側に設置しました時計塔ですが、企画から許可をへて施工、市長を迎えての除幕式まで、まだやるのかくらい、多くの打合わせがありました。

また、奈良市総合福祉センターへの防災対応用品の寄贈についても、ロータリーの地区補助金申請を初めてさせてもらいました。地区の担当の方と何度も電話で話しました。そして、12月15日の55周年記念例会です。早くから準備していたつもりでしたが、当日までバタバタとしましたが、皆さんの力で55周年をお祝い出来たと思います。

そして何よりも、年度当初は会員数が減り、どうなるのかと不安でありましたが、これも皆さんのおかげで乗り切ることが出来たと思います。

本当に良い経験をさせていただいたと思っております。

皆様のご協力に心から感謝し、ご挨拶にかえます。本当にありがとうございました。



SAA退任挨拶

<2024～2025年度SAA退任挨拶>

岡崎 義幸 SAA

1年間、SAAをさせて頂きました。岡崎でございます。

当初、私のような若輩者が、SAA、しかも55周年の周年事業の司会もと本当に出来るのだろうかと不安な気持ちでいっぱいでした。

例会での時間配分の調整や当日のハプニング対応をうまく出来ず最後まで四苦八苦していた私ですが、そのたびに温かくフォローして下さった皆さまに、心から御礼申し上げます。

また、55周年記念式典という「節目を祝う大舞台」において司会を進める中で、諸先輩方の想いと努力を深く胸に刻む貴重な経験をさせていただきました。このような機会を与えてくださったことに、改めて感謝申し上げます。

SAAとして至らぬ点が多々あったかと思いますが、1年間、本当にありがとうございました。





第2回（通算2549回）例会予告
例会日 令和7年7月10日（木）

各理事 事業計画発表

クラブ管理担当 井上 直治理事
クラブ広報担当 岡崎 義幸理事
クラブ増強担当 東山 光秀理事
クラブ奉仕担当 安井 清悟理事
クラブ財団担当 松中 隆理事